

所 属	産業労働観光部 労働雇用課	21年度担当所属名
担当(係)名	雇用対策担当 内線 3125	商工労働部 労働雇用課

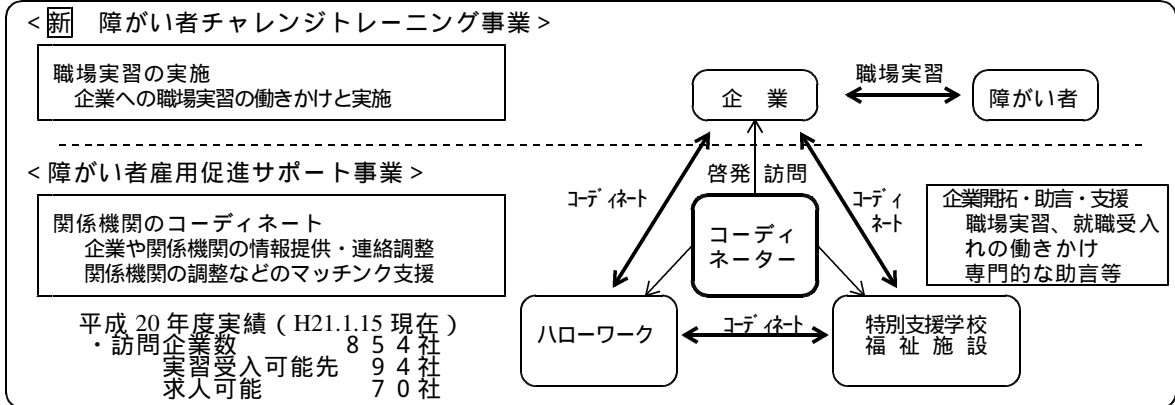
新 障がい者の就労促進のための職場開拓と短期職場実習の実施
 <ふるさとぎふ再生基金事業>

1 事業費	【財源内訳】	【主な用途】
・障がい者雇用促進サポート事業費 16,534 (前年度16,576)	繰入金 16,534	委託料 16,048 (企業訪問に係る人件費等)
・ 新 障がい者チャレンジトレーニング事業費 4,000 (前年度 0)	繰入金 4,000	委託費 4,000 (職場実習に係る謝金等)

2 背景・現状
 働く意欲と能力を有する障がい者の方が就労するためには、より多くの職場実習先・就職先を確保する必要があるとともに、短期の職場実習を行うことにより、企業・障がい者双方の不安を解消する必要がある。

3 事業目的
 障がい者の就労促進のため、職場実習先・就職先の開拓など障がい者雇用の啓発や企業ニーズの掘り起こしを行う。
 また、採用意欲のある企業で即座に職場実習を行うことで、職場開拓と短期職場実習を実施することで、タイミングを逃さず迅速な障がい者雇用を実現させる。

- 4 事業概要
- (1) 障がい者雇用促進サポート事業(平成20~22年度)
 企業への個別訪問による職場実習及び就職先の開拓
 ・「障がい者雇用企業開拓コーディネーター」を設置し、県内企業を個別訪問することで、職場実習・求人受入の働きかけや、個々の企業ニーズや実情を踏まえた専門的な助言・提案などを実施
 関係機関のコーディネート
 ・「障がい者雇用企業開拓コーディネーター」が、特別支援学校・福祉施設・ハローワーク等の関係機関と連携しながら、情報提供や関係機関の調整・マッチング支援を行うなど、関係機関の橋渡し役となり、障がい者雇用を促進
- (2) 障がい者チャレンジトレーニング事業(平成21~22年度)
 職場実習の実施
 ・障がい者雇用に不安のある企業と、一般就労経験がないなどの不安を抱える障がい者双方の不安を解消し、雇用・就労意欲を高めるため、準備・訓練の場として短期の職場実習を実施



(款)5労働費 (項)1労政費 (目)(3)雇用促進費
 (明細書事業名)中高年齢者等雇用促進費
 障がい者雇用促進サポート事業費
 障がい者チャレンジトレーニング事業費